

Japanese
Looking To The Unseen
50-0816

見えないものを見て歩く
クレーブランド オハイオ州 アメリカ合衆国
1950年08月16日



www.messagehub.info

ウィリアム・マリオン・ブラハム
"...第七の御使が吹き鳴らすラッパの音がする時には、神がその
僕、預言者たちにお告げになったとおり、神の奥義は成就され
る。" 黙示録 10:7

はじめに

際立ったウィリアムブラナムのミニストリーは、マラキ4章4,5,6及びルカ書17:30と黙示録10:7と多くの聖書の預言に対する聖霊からの答えなのです。この世界規模のミニストリーはこの終わりの時に聖霊による神の御業の継続なのです。それは聖句の中にあり、イエスキリストの再臨のためにある人々を整えるために立ち上げるために必要とされていると書かれています。

あなたが祈り深くこのメッセージを読むとき、この印刷された御言葉があなたの心に刻まれるようにと祈ります。

メッセージの正しい転写、翻訳を提供できるように最善を尽くしておりますが、英語の録音がウィリアムブラナムによって語られた説教をもっともよく表しているものです。

オーディオや転写された1100の説教がウィリアムブラナムによって語られたものが無料でダウンロード可能で又多くの言語で印刷可能になっています。(日本語での翻訳あり)

変更が行わないかぎり、メッセージを無料でコピー、配布することは許可されています。

りを捧げたいと思っています。私も理由は分かりません。よし。ほんの少しの間だけ敬虔になってください。

主の霊がここにいます。心から信じますか？今試してる。あなたはただ神に身を委ねるべきです、神に甘い身を委ねた人生が神を..?…に導いてくれるでしょう

45 祈りましょう。天の父よ、あなたはすべてのことを知っており、何が何でも何がそうでないのか、そしてあなたが何をしているのかを知っています。神よ、この聴衆を祝福してください。今すぐそれを許してください。あなたの御霊が聴衆の上にありますように、この時、あなたはそうしますか、父よ。どうか、親愛なる神よ、私たちが祈りの列を作れば、壇上に来る人たちはただその人たちのためになるでしょう。しかし、私たちは今、あなたがここにいと信じるべきです、主よ、あなたの油注ぎはあなたの僕を麻痺させ、波のように落ちているだけです。おおイエスよ、この時、人々がこのことに少しでも触れられますように、彼らは癒されるかもしれませぬ。主よ、イエス・キリストを通してそれを与えてください。

ああ、皆さん.. どうか、親愛なる兄と妹よ、私を神の僕として信じてください。この建物には癒せるもの以外何もない。それを信じますか..

46 今、ここであなたの癒しを受け入れている人は何人いますか。言ってください、“この瞬間から、神の恵みによって、私は癒されました、”そして家に帰って、“私はキリストを通して元気です、と言ってください。”癒しを受け入れるあなた、今すぐ立ち上がってください。そしてそれは正しい。アーメン。そういうやり方だ。ハレルヤ。

ああ、神様、主よ、私はあなたの優しさにどう感謝しますか。私にはもうできないことを..?…もうできないことを知っています。彼らが癒しを受け入れた時が来ました。

おお悪魔よ、あなたは力を失いました。あなたはコントロールを失いました。あなたは今、外の暗闇の中において、主イエスが民を癒してくださっていることが、この町と国中に神の栄光が知られるでしょう。

ありがとう、お父さん。ありがとう、主よ。

誰もがあなたの癒しを受け入れ、手を挙げてこう言います、“イエス様、私を癒してくれてありがとう。イエス様、私を癒してくださいありがとうございます。”神を賛美してください。

見えないものを見て歩く

1 こんばんは、皆さん。今夜またここに来て、私たちの主イエスと、その恵み——必要を覚える者を救い、また癒してくださるその恵み——についてお話しできることを、心からうれしく思います。

神については、すでに語られてきた以上に、これ以上付け加える必要はないでしょう——神の偉大さについては。

ほんの数分前、バクスター兄弟が語っておられたお話を、私は楽しみながら聞いておりました。

2 そして、私はまず、列王記下の第6章から始まる御言葉を少しだけ読みたいと思います.. [テープ上の空白部分]…13節目.. 12節から始めてもいいのですが、それは—それは、過ぎ去った日々のある日に—いた神の偉大な力ある人、エリシャに関するものです—。そして今、よく聞いてください。

すると、彼の家来の一人が言った。「ああ—主よ、王よ。しかし、イスラエルにいる預言者エリシャは、あなたが寝室で話している言葉をイスラエルの王に告げます。」

イスラエルの王よ、彼らは戦争をしました。そして—もう一人の王は、彼らがどのようにしてこれらすべてを把握しているのか疑問に思いました。すると、召使いの一人が立ち上がり、こう言いました。“まあ、私たちの中には何かスパイがいるに違いない。”

するともう一人の僕が言った、「“いいえ、でもエリシャは寝室で神からもつと知っています。”。彼はこれらのことを知っており、イスラエルの王に告げている人です。” 今日はいくらかエリシャが必要です。

それから彼は言った、「行って、彼がどこにいるのかを見つけてください。私が彼を送って迎えに行くためです」。そして、「見よ、彼はドーサンにいる」と言われました。

そこで彼は騎兵、戦車、大軍勢をそこに遣わした。そして彼らは夜にやって来て、町を囲んだ。

そして、神の人の僕が早く復活して出て行ったとき、見よ、軍勢が騎手と戦車の両方で町を取り囲んだ。するとしもべは彼に言った、「ああ、主人よ!」どうしよう？

そして彼は答えました、「恐れることはありません..」(ああ、それは大好きです。どんなに暗く見えても、疲れなくてください、恐れることはありません。)…なぜなら、私たちと一緒にいる彼らは、彼らと一緒にいる人々よりも多いからです。

そこでエリシャは祈って言った、「主よ、どうか目を開けてください。見えるようにしてください。」そして主は若者の目を開かれた。そして彼は見た。そして見よ、エリシャの周りの山々は馬と火の戦車でいっぱいだった。

3 神が御言葉を祝福してくださいますように。今、私たちは、神が人々にご自身を明らかにし、神の僕である預言者を通して神の道を人々に知らせるために動いた、過ぎ去った日のことを考えています。

そして、この時期は戦争があったときです—二国間に戦争状態が存在していました。そして相手国は、なぜイスラエル人が自分たちの計画をすべて知っていて、いつでもそれを狂わせる準備ができているのか理解できませんでした。そこで彼らは部下を呼び出し、一彼らの中に秘密や任務を語るスパイがいなかどうかを調べました。そして彼らのうちの一人が言いました。「私たちの間ではスパイではありません。エリシャです。—イスラエルにいるエリヤです。」彼は寝室に設定し、すべての将来の計画を知ることができます；私たちは知っています。そして彼はイスラエルの王にこのことを告げます。”

4 ご存じのように、現在のこの危機において、アメリカが持っている最良の武装は、神を畏れ、祈る人々です。それが最良なのです。それは、私たちがどれほど多くの爆弾や戦車を生産できたとしても、それ以上の価値があります。神は常にご自分の民のために戦ってくださいます。さあ——

もしこの国全体が心をつにして、悔い改めの粗布と灰をもって神の前に身を低くし、私たちの先祖が歩んだ昔ながらの道へ立ち返るなら、私たちに少しの害も及ぶことはないでしょう。私は、それはどの弾薬工場や私たちが作り得るものよりも(そのとおりです)、またどれほど多くの爆弾を持つよりも、はるかに価値があると信じます。祈りほど偉大なものはありません。神はすべての未来を御手の中に握っておられます。

少し前に、ある人が私に尋ねました。「ブラナム兄弟、未来についてどう思われますか。」

私は言いました。「未来が何をもたらすかは知りません。しかし、未来を握っておられる方を私は知っています。」ですから大切なのは、その方と親しく歩

やないか？よし。今すぐ主を信じて癒されなさい。そうする？

神を信じる—持つ。彼はそれを成し遂げるためにここにいます..

さて、ちょっと待ってください。ここにはとても疲れてとても苦しんでいる人がいます。ちょっとだけ。ほとんど分からないことがたくさんあります。さて、それがどこであれ、それは非常に深刻なケースです。ちょっとだけ。

はい、ここにいます。花柄の—黒い花柄のドレスを着た女性がここにいます。困ってないのか 姉さん 苦しんで？そうじゃないか？それは本当ではないですか？全体..?…これをどう見てください。はい、姉さん。もし..なら、あなたに何かをしなければなりません。あなたは腫瘍でいっぱいです(そうじゃないですか?)、あなたの中に腫瘍か何かがありますか？上げる。それは本当ですか？神を信じれば腫瘍は去ります、妹よ。心から信じていますか？さあ、見てください..?… 姉さん、席の端に座った方が気分は良くなりましたか？はい。はい 奥様。もう終わりだ。 元気になりますよ。

43 そこに座っているあなたの友人の女性があなたと話し続けています。なぜ私があなたをそこに電話しなかったのか疑問に思っているだけですよね？そうなんだ。不思議に思ってたな。私はあなたの心を読んでいるわけではありませんが、なぜ私がそこであなたを捕まえなかったのか疑問に思っていました。まだあなたの何が問題なのか分かりません、お姉さん。立ち上がってくれないか？さあ、心から信じてください。ほら、他の振動がすごく速く来るところからあなたを連れて行きます、私には無理です.. さて、ちょっと待ってください。手を差し出してください、このように。何かよくわからない。拳を二倍にして、このように、あなたの後ろに置き、このように、ずっと後ろに、私のようにずっと後ろに回します。その時触ったのね。それはあなたの肝臓です。そうか？そうだね。それがあなたの腎臓なのか肝臓なのかは分かりませんでした。よし。イエス・キリストはあなたを完全な者にしてください、姉さん。さあ、勇気を出してください..?…神のために何のために..?…

44 神を信じる。建物内にはあと何枚の祈りのカードがありますか？

神のご加護がありますように、お母さん。それがあなたに起こるかどうかは.. よし。心から信じるつもりですか？

今、何人が信じているのだろうか？さあ、今は興奮しないでください、ただ敬虔に。ただ.. ここでは主の御霊がどのように動いているのか少し迷っています。彼らの多くは一祈りの列を持ちたいと思っており、彼らの多くは今すぐに祈

はあなたの視力を持つでしょう。

お嬢さん、ハンカチを彼女の隣に置いて、何を心配していますか？大丈夫。こうやって見てください、お姉さん。何かおかしいわね。うん。あなたも目が悪いし、神経質なんですよ、本当に...？...悪魔のうつ病ですか？そうじゃないか？抑圧はいつもあなたを悩ませます、緊張。そうじゃないか？神のご加護がありますように。治ったと言ったら信じてくれる？よし。家に帰ってください。治りましたよ。神が祝福されますように。

41 どう思う お姉ちゃん？そうですか？あなたも困っているようですね？さあ、皆さん、敬虔になってください。今、それは霊と交差しています。この小さな男の子の設定が私を引っ張っています。さて、皆さんもできる限り敬虔です。

ここを見ろ 姉さん。あなたは何かにうんざりしています；それはあなたの周りが本当に暗いので、それは何か間違っています。あなた—最近医者に行ったことがありますよね？そして検査を受けましたね。さて、見てみましょう。信仰を持つ。心から私を信じてください。はい、女性トラブルがありましたね。彼はそれについてあまり確信がありません；彼は正しいです。彼はそれは...癌かもしれないと言いました。そうか？わかりました、それはそうです、あるいはむしろそうでした。もう治ったね。癒しはありましたか...？... さあ、これを見てください、お姉さん。それを信じるの？

皆さん、敬意を持ってください。やめてください... どうか、敬意を持って—しましよ—しましよ。

急いで、いくつかあります... 何か...つながりがあります。先生、あなたはここにいて、“癒しの声”を手ここに座り、前の席に座っています。あなたとこの女性の間には何らかのつながりがあります。彼女がそうだったとき、あなたはとても幸せでした... それはあなたのものでしょうか...それはあなたの妹かあなたの妻です。奥さんですよ？そうだね。あなたも困ってるわ。あなたはそうでした。あなたとあなたの妻は家に帰って幸せになってください、あなたは癒されているからです。

42 姉妹、そこに座って泣いているあなたはどうですか？神経質なトラブルだね。そうじゃないか？よし。神様もあなたを癒してくださいました。あなたは...

何のために頭を下げたの、ハニー、すぐ後ろに小さな女の子がいるのよ。あなたも大変な状況ですよ？えッ？喉のトラブルですよ？操作する修正ですよ？手術を受けるつもりです。彼らはあなたの喉に手術するはずですよ。そうじ

み続けることなのです。

5 それで、その預言者がイスラエルにいると分かると、彼は言いました。「行って彼を捕らえ、ここへ連れて来い。」

彼らは出かけ、エリシャがドタンにいると告げられました。そこで彼らはドタンへ下り、夜のうちに入り込み、暗闇の中で町の周囲に陣を敷きました。ご覧なさい、敵はいつもひそかに、暗闇の中で働くのです。そしてエリシャを捕らえるために、町を取り囲みました。

さて、その若者、彼のしもべが朝早く起きて外に出ました。言い換えれば、彼はエリシャに付き添い、あちらこちらと世話をする、いわば従者のような者でした。外に出ると、戻って来て言いました。

「ああ、わが主よ。町全体が敵の馬と戦車に取り囲まれています。」

エリシャは言いました。

「われわれと共にいる者は、彼らと共にいる者よりも多い。」

しかし彼には、エリシャのほかには誰も見えませんでした。そこでエリシャは祈りました。

「主よ、この若者の目を開いて、見えるようにしてください。」

すると主は、その若者の目の前にあつた覆いを取り除かれました。彼が見ると、丘や山々は火の戦車で満ち、その老預言者の周りを取り囲んで立っていました。

そのとき、彼はもう恐れませんでした。

6 ああ、今夜こう思います、「主よ、時間の幕の向こうを少しだけのぞかせてください。ほんの少しでよいのです。それが何なのか見せてください」と。私たちは今夜、ここで大きな戦いを戦っています。正と誤との戦い、神の御言葉と現代神学との戦いです。そして敵はあらゆる方法で御言葉を妨げようとしますが、神にあつては一つの側こそが多数なのです。

さて、ここであなたがたに見てほしい点はこれです。神に属する人、「神の人」と呼ばれたその人、エリヤ(エリシャ)は、自然の事柄を見ませんでした。彼は超自然を見ていました。彼は見えるものを見ず、見えないものを見ていたのです。

そして今夜、愛するクリスチャンの友よ、私たちは見えないものを見るのです。これは、バクスター兄弟が超自然についてあのすばらしい勧めをしてくださったときに、私の心に浮かんだことです。超自然とは、あなたが見ないものことです。しかし、それを信じ、それがあのかのように行動するのです。分かりますか。

クリスチャンの武具はすべて超自然です。私たちは見えるものを見ません。見えないものを見るのです。あなたが癒されることができるのは、見えないものを見ることによるのみです。

7 今日、ある女性から手紙を受け取りました。がんが癒されたという方です。彼女はこう書いていました。「最初の二、三日は、本当に栄光に満ちていて、素晴らしい気分でした。でも三日目にひどい具合の悪さが出てきたのです。私は癒しを失ってしまったのでしょうか？」

これは毎晩、すべてのケースについて説明しておくべきことです。いいえ、それこそが癒しの最も完全なしなのです。七十二時間ほど経つと、その腫瘍の中で腐敗が始まります。それはもう死んでいるのです。そして……それは……神は時には奇跡を行われ、腫瘍そのものがまったく残らない場合もあります。

8 さて、私はこれをお伝えできます。私のさばき主であられ、私が御前に立つ神が証人です。新聞の切り抜き、第一面の見出しとして載った記事があり、それをここ、この講壇でも示すことができるでしょう。私は、体にぶら下がるように大きながんを抱えた人々がこの講壇に来るのを見ました。そして祈りがささげられている間に、そのがんが白く変わり、落ちて床を転がっていくのを、私は祈りながら見たのです。天におられ、下を見ておられる神は、それが真実であることをご存じです。新聞記者がそこに立ち、その様子を写真に撮り、第一面に掲載したのです。それはキリスト教新聞でした(分かりますか)。編集者はクリスチャンで、神を信じ、病人や失われた人々に対する思いを持つ人たちでした。

しかし、これらのことが私たちを動かすものではありません。神は、あなたが決して知ることのないことを、私のホテルの部屋でさえ啓示されることがおできになります。ですから、それでよいのです。これらすべてのことは、ただ主がなさるままに委ねればよいのです。いつも主に御心のままにしてください。

9 さて、ある一つの例を思い出します……もしその新聞のコピーをご希望でしたら、今でも「アーカンソー・ガゼット」、いわゆる「サン」紙で入手できるかもしれません。それはAP通信にも載った、大きな新聞で、何万という購読者がいま

が絶え間なく続きますように… 彼がヨハネ・マルコの家で絶えず祈っていたとき、あなたは天使を送り、刑務所のドアを開けて使徒を連れ出しました。

あなたの子供たちの多くは、苦しみ、病気、病気によって刑務所に収監されています。今夜、神の天使があなたの僕に臨み、すべての鎖を断ち切ってくださいように。許してください、主よ。私たちが喜び、幸せになり、神の善良さを讃えながら城門から出られますように。聖なる子イエスの御名において、私たちはこの祝福を求めます。アーメン。

39 信仰を持ちなさい;疑わないでください。時間をたくさん取ります。ごめんね。そしてここに立って、多くの人が列に並ばないかもしれないことを知っています… そうでないなら、なぜでしょうか?神の言葉に対する信仰があれば、どこでも癒されるでしょう。

奥様、心からそう信じますか?小さな赤ちゃんを持つ女性、あなたは困っていますよね、お姉さん?神様があなたの心を祝福してくださいように。あなたは疲れた精神をお持ちですね。そうじゃないか?こっちを見てよ、姉さん。気の毒に思う。はい、あなたは—あなたではありません;あなたは赤ちゃんのことが心配です。それは本当ではないですか?ほんの少し前まで祈ったり、何かをしたりしていましたよね?あなたは神に、その赤ちゃんについて私に話させてほしいと頼んでいました。そうじゃないか?あなたの心を読んでいないのですが、少し前にそれを感じました… その隅にはグループ全員が祈っています。赤ちゃんはどうしたの—どうしたの?イエスがカルバリの向こうで亡くなったとき、その赤ん坊を癒したことをご存知ですか?彼はその代償を払った。

さて、あなたの赤ちゃん、何が問題なの… あなたの赤ちゃんは3歳くらいだと思います、そんな感じですが。それはほぼ正しいことではないでしょうか?そして成長が止まり、それ自体は役に立ちません。それは本当ですか?信じてくれる?よし。信じるなら、今すぐその癒しを受け入れてください。

今では、母親を抱きしめることさえなく、母親の腕の中に一人で置かれています。彼女はそこから腕を離しています。“主を賛美しましょう。” 赤ちゃんは今、背中に使っています。よし。みんな敬虔になってください。

40 あなたのすぐ隣に座っている小さな女の子、恋人、ブラナム兄弟があなたに真実を話していることを信じますか、そこにいる悪い目をした小さな女の子?イエスがあなたを元気にしてくれると信じるつもりですか?そうですか?わかりました、このように小さな手を目に当ててほしいのです。言ってください、“親愛なるイエスよ、私を癒してください。” 神のご加護がありますように、ハニー;あなた

神は今ここにいます。あなたの態度...心を込めて主を信じるように伝えてください。神を受け入れる。よし祈りましょう。

おお父さんよ、ああ、もし私の唇が言葉しか形成できなかつたとしたら、私の舌はあなたにふさわしい賛美しか発することができなかつたでしょう。主よ、あなたはジョージのことを知っています。あなたはそれについてすべて知っています。主よ、あなたはあなたの僕が真実を語ったことを知っています。そして、この偉大な裁きを受ける人々の前で、私は立ち上がって説明するつもりです。もし私が間違ったことを言ったら、私は漂流者となり、愛する人たちから背を向けられ、イエスから背を向けられ、希望を失い、非難されるでしょう。ああ、神様、私はそんなことはしたくないのです。正直で正直になりたいです。

そして、世界には多くの不信仰があることも知っています。あなたは、終わりの日には、嘲笑者が集まり、頭がくらくらしたり、高尚になったり、神よりも快楽を愛したり、休戦協定を破ったり、冤罪を告発したり、失禁したり、善良な人々を軽蔑したり、憎まれたりするだろうと言いました。そして彼らは宗教団体であり、ある種の敬虔さを持っているが、その力を否定するだろう。そんな背を向けて。霊たちは、終わりの日にはこれらのしるしがあるだろうと、表現豊かに語った、と言いました。

38 父よ、私たちはここにいます、そして弟子としてあなたの御名の非難を運ぶことができ、幸せです。今夜、私たちは昔のポールとしての証人を望んでいます。“いわゆる異端なので、私たちの先祖の神である私を崇拝してください。”異端、狂気、狂気、神経症と呼ばれる悪の言い方は、本当に...サタンは部下を仕事に就かせていますが、あなたもあなたの部下を持っていることに感謝しています。そして今夜、私たちはすべてを信じてあなたの側にいられることをうれしく思います。そして、あなたが私たちと一緒にいて、しるしと不思議が続くことで御言葉を確認して下さっていることを嬉しく思います。主よ、人々に見てもらい、永遠に手遅れになる前に、今夜、邪悪さから立ち直り、キリストに立ち返ってください。そうすれば、彼らは地上から吹き飛ばされて悪魔の地獄に行き、キリストのない墓に行き、終わりのない永遠を過ごすことになるでしょう。神も希望も慈悲もなく。今日は悔い改めの日です。今日は人間の日です。主の日が来るであろう。

さあ、助けてください、神様。今夜ここにたくさんの子供たちが集まっています、病気です。あなたは昔シメオンと同じように彼らの上に移動し、癒される目的で彼らをここに連れてきました。彼らと信仰を持つよう助けてください、父よ。彼らの信仰が融合し、私たち全員が今、一つの単位として、そして私たちの祈り

す。その講壇の上に立っていた——彼女の写真が載っています。もし望まれるなら、彼女に手紙を書いてコピーを取り寄せることもできるでしょう。もしかすると、今ここにも記者が立っているかもしれません(実際にいることは分かっています)。ですから、ご自分で書いて確かめ、納得なさることもできます。

さて、ご覧下さい。第一面には、ページいっぱい大きな写真が載っています。医師から死亡を宣告された女性が、列の中に横たわっている写真です。彼女は心臓、結腸、そして肝臓のがんで、病院から運ばれて来たところでした。アリゾナ州フェニックスの街路を、看護師たちに押されて運ばれながら、彼女はこう言ったのです。医師たちは彼女の夫に、もはや望みはないと告げていました……彼女の名前はハッティ・ウォルドルフ夫人で、アリゾナ州フェニックスの……通りに住んでいます。彼女の夫はそこで大きな配管業の会社を営んでいます。

ボズワース医師が今日、そして次の集会にも来られると聞いています……(テープに空白あり)。つい最近、彼と私は彼女と一緒に夕食をとったばかりです。

10 そして彼女は、心臓、結腸、そして肝臓のがんを抱えていました。余命はあと数時間と宣告されていたのです。祈りの列に来たとき、彼女はまだ二つ先の街区におり、すでに命が尽きかけていました。彼女は言いました、「どうか連れて行ってください。もし死ぬとしても、兄弟の前に出たいのです。」

やがて彼女が入口まで来たとき、人々は私に言いました。顔には覆いがかけられ、「部屋の中には遺体があります」と。

夫は泣きながら近づいて来ました。私はその女性を見て、手を取り、脈を確かめました。彼女は……冷たく感じられました。実際の状態がどうであったかは分かりません。しかし私は彼女のために祈り始めました。彼女の信仰が大きかったので、神がその命を与えてくださるように願ったのです。すると、ほんの数分のうちに、彼女は寝台の上で起き上がり、そのまま家へ帰って行きました。

11 それは今からおよそ三年前のことです。彼女の主治医はレントゲン写真を持っています。その医師も集会に来られました。そしてこう言われました。「私がしたいことはただ一つです。ブランナム兄弟のところへ行って握手をし、このことを声明したいのです。」そして彼女を診ていたクリスチャンの医師が(今でもその証言を得ることができます)、こう言いました。「彼女の体には、どこにもがんの痕跡はまったくありません。」それが記事の一つの隅に載っています。そして彼女自身も、この集会に握手をするために来られました。

また別の隅には、別の出来事が載っています。そこには一人の元GI兵がいました。彼はあまりにもひどく腫れ上がっており、飛行機で運ばれて来たとき、足は……足の指がそのくらいの太さになるほどでした。がんでした。彼はそこに座っていましたが、祈られている間に——これは新聞に載っています——記者はこう書きました。「私は自分の目で、その腫れが手足から引いていくのを見た。」彼は腫瘍のために何週間も食事ができませんでした。しかしその後、フライドチキンを半分食べ、さらにパイントのアイスクリームまで食べました。そして家へ帰りました。エヴァレット・サンプターという人です。

リンゼイ兄弟が、その新聞のコピーを持っておられるかもしれません。持つておられるはずですが、今手元にあるかどうかは分かりません。

12 そしてまた別の隅には、一人の牧師の記事が載っています(これは記者自身の言葉です)。彼は首にがんをぶら下げていました。それは約二年前、ひげそりの傷から始まり、がんへと進行したものでした。

記者はこう書いています。「その人が講壇に上がって来たとき、私はそのがんを見た。それは生々しく、血のにじんだように見えた。そしてブラナム師がその人のために祈ってから、ほんの数分のうちに、そのがんは落ちて彼の足元を転がった。私たちはそれを拾い上げた。ここにそれがある。そして、がんが落ちた首のところには深い穴が残っている。」

そこには、そのがんが落ちた跡として首に空洞のある、その人の写真も載っていました。アーカンソー州ジョーンズボロの「アーカンソー・サン」紙です。もし望まれるなら、取り寄せて確認なさってください。

13 その記事の中ほどには、およそ二万六千人の人々が集まったことが書かれています。カナダからメキシコまで、各地から人々が集まって来たのです。(テープに空白あり。)嵐で雨が降る中でも……人々は素朴で、神を愛する人たちでした。分かりますか。信仰です。

さて、私たちは見えないものを見て、神によって語られた見えない事柄が現実となることを信じるのです。それが信仰です。

多くの場合、そのように働きます。癒しにおいてもそうです。昨晚、私はここ講壇で、人々に一人ずつ語りかけようとしていました(やがて半ば無意識のような状態に入るまで)。

14 私はいつも、祈祷カードを使わずに済む時が来ることを望んできました。祈祷カードなしで、人々がただ心一つにして信じる、ただそれだけでよいとい

戸口を開けて中に入ると、そこに彼のただ一人の愛娘が座って、ピアノを弾いていました。

「イエスよ、十字架のそばに私を置いてください

そこには尊い泉があり、

すべての人に自由に与えられる癒しの流れが、
カルバリの泉から流れ出ています。」

彼はバケツを落とし、娘を抱きしめて言いました。

「どうしたんだ、いったい何が起こったんだ？」

彼女は言いました。

「あなたが“ならず者”と呼んだその人を、主イエスがここへ遣わしてくださいました。彼が私に手を置きました。そして今、私は癒されたのです。」

そして彼女は今日、ミルトン・バプテスト教会で私のピアノ奏者をしています。完全に健康で、今夜ここに座っているどの人と同じように元気です。どうぞ彼女に手紙を書いて確かめてみてください。

36 彼女を待っていた医者がやって来ました.. [テープ上の空白部分]… イエス キリスト。アーメン。[空白のスポット。on。テープ]

今夜も当時と同じように素晴らしかったです。ほら、ここにいる人たち、これはあなたには奇妙に思えるかもしれません。もしかしたらそうではないかもしれませんが.. [Blank. spot. on. tape]…?…空気の力の王子。サタンは常にあなたの心の中で何かを手探りしようとします。しかし今夜、キリストが神の右に座しておられる上記の事柄に愛情を注いでください。そして、聖書にはこう書かれていたことを思い出してください。“彼は昨日も、今日も、そして永遠に同じです。”そして、もし神の御霊がここにいるなら、神は過ぎ去った日々と同じように、今日も物事を明らかにします。天地は過ぎ去りますが、神の言葉は過ぎ去らないでしょう。神を信じる。疑わないでください。

37 ジョージーに手紙を書いてください。彼女にそれを聞いてください。彼女だけでなく、私も朝日が暮れるまでここに立って、過去4年間に起こったこのような事件を話すことができました。毎日それが起こります、間違いのないことです。

弟、あなたは私に最初に行ってほしいですか？”

何も言っていない。そして友人たちよ、今夜ここにいるあなたの兄弟として、私は何か私を離れるのを感じ、自分が彼らの階段を上っているのが見えるように見えました。

34 私はドアまで行ってドアを開けました。そして彼女はそこに横たわっていました、かわいそうな小さなこと。そして彼女の唇は震えていた。彼女の母親は驚き、何が起こったのか彼女に話し終えることができませんでした。私はベッドまで歩いて行き、彼女に手を置きました。私は言いました。“ジョージー、このどこかの荒野に吊るされた子羊の幻を私に与えてくださったイエス・キリストでさえ、今日森の中で私の前に現れ、あなたが元気になるようにあなたに手を置くように私をここに送ってくれました。”

私は彼女の手を取って言いました、“一主なる神が私に言われたように、「主イエス キリストの御名によってよみがえり、完全でありなさい。」”

そして、9年8か月間動かず、ベッドに横たわっていた彼女は、あんなに大きな手足を持ち上げてどうやって立ち上がったのでしょうか？しかし、神が語られるとき、神は力を与えてくださいます。そうだね。彼女の手を取って… 彼女は私をそんな風に見つめ、目が固まったように見えました。そして私は彼女の手を取ってベッドから起こしました。すぐに彼女は家の中を歩いていました。彼女は叫んでいた。彼女の母親は寒さで気を失い、部屋に身を乗り出した。

少女はドアを開けて出て行き、草の上に出て草を祝福し、葉っぱを祝福し始めました。彼女の小さな心を祝福してください。彼女が初めて葉と草を見たのは、9年一近くからでした。もし彼女がそのベッドに横たわっていたら、そして一そして人々は近所のあちこちから逃げ始めます。

35 私は外に出て、教会のある丘の方へ上がって行きました。そこにとどまっていることができませんでした。注ぎは周囲にあふれていたのです。丘を上り始めました。

すると、彼女は家の中へ走って戻り、ピアノの前に座りました。しばらくして、父親が丘の向こうから、小さな牛乳のバケツを持って納屋の方から戻って来ました。家に近づくと、人だかりができていたのが見えました。中から音楽が聞こえてきます。

「何だ、来客でもあるのか？中の様子を聞いてみよう。」

う時です。主は私にこう言われました。「これらのしるしは、人々に信じさせるために行われるだけのものだ。」そして言われました。「あなたは神の癒しの賜物を世の人々に携えるために、この世に生まれたのだ。」(テープに空白あり。)それからまた言われました……(テープに空白あり。)
「人々に信じさせなさい。」そして言われました。「あなたが祈るとき誠実であり、人々にあなたを信じさせるなら、どんなものもその祈りの前に立つことはできない。がんでさえも。」

それは真実です。私は、祈祷カードの呼びかけなど必要としないところへ行きたいのです。そこでは、すべての人が心一つにして信じ、癒され、そのまま立ち去って行くのです。ある町で一日奉仕し、次の町へ向かう。また別の町で一日奉仕し、さらに次の町へ向かう。そして至るところで何千人もが癒され、主の栄光が注がれる。それが私の望みです。

15 モーセは、そのしるしをもって……彼はそれを一度イスラエルの前で行いました。そして彼らは四十年間、彼に従って旅をしました。そうでしょう。はい。彼は一度それを行いました……らい病にかかった手を癒し、持っていた杖——歩くための杖を蛇に変え、また杖に戻しました。彼らはそれを信じました。

当時、多くの魔術やまねごとが行われていました……ヤンネとヤンブレがモーセに逆らいました。しかし神は、ご自分の力が常に優勢であり、それを超えて働くことを示されました。分かりますか。いつもそうなのです。

今日もまた、多くの真と偽とがあります。それは事実です。そして偽りは常に自分こそが真理だと言おうとします。しかし神は、これらのしるしによってそれを明らかにされました。私たちは誰の言葉でもなく、神の御言葉だけを受け取ればよいのです。御言葉は誤りのないものです。幻はすばらしいものです。それは最初の方法なのです。

16 ちょっとした癒しの話が心に浮かびましたので、お話ししましょう。すぐに祈祷の列に入ります。

ある晩、母の家に下りて行ったときのことで。私は祈っていました。すると、何か幻の中に入ったように感じました。何が起きているのだろうと思い、目を向けました。

私たちはとても貧しい家庭に育ちました。母は洗濯をすると、しまう場所があまりなかったので、ただ椅子の上に衣類を置いていました。

その夜、私の部屋で——午前一時ごろだったと思います——椅子の上に衣類が積んであるように見えました。たいてい幻は一時から三時の間に起こり

ます。それを見ながら、私は「これは母の洗濯物だ」と思いました。そして、「きっと誰かが助けを必要としているに違いない。でなければ、こんな感じはしないはずだ」と思いました。

私はあまり眠れません。今もとても疲れていて、ここに立っているのもやっとなです。本当です。夜通し起きていて……

17 祈っておられる皆さん、覚えていてください。それは私に影響するのです。分かりますか。あなたがたが祈り、そうしたことを求めると、それがそのまま私に返って来て、何時間も夜眠れなくなるのです。

そのときも、きっとそれだろうと思いました。そして考え始めました。しばらくすると、それがだんだん私に近づいて来ました。白い粉のような、雲のようなものだと気づきました。そして私はその雲の中に入りました。すると、小さな子羊が鳴くような声が聞こえました。「メー、メー」と。私は深い暗闇の中にいました。そしてその中をさまよっていました。

「ちょっと待て。よく見てみよう。あまりにはっきりしている」と思いました。「これは夢ではない。私はベッドのそばで祈っていたのを覚えている。これは幻だ」と。そして言いました。「ああ、主よ、それはどこにあるのですか。」

暗闇の奥の方から聞こえてきて、私はそれに近づこうとして、いばらのつるなどをかき分けました。もう一度耳を澄ませました。いばらをつかむと、それが手に刺さりました。そしてまた「メー」と、ただ鳴いていました。「かわいそうに、小さなものが暗闇の中で迷っているのだ」と思いました。私はそのようにかき分けながら進みました。

「主よ、この幻が何を意味するのか分かりません。しかし、その子羊のところへ行ってみます」と思いました。

近づくにつれて、それは人の声になりました。「ミルタウン、ミルタウン」と、とても弱く泣きながら呼んでいました。「ああ、どこだ？どこだ？ミルタウン？」と思いました。「聞いたことがない。でも、行ってみよう」と。そして私はなおもかき分けながら進み続けました。

18 しばらくすると、誰かが叫ぶ声が聞こえ始めました。「ブラナム兄弟？ああ、ブラナム兄弟。」そして私はその幻から目を覚まし、周りを見回しました。「私はどこにいるのだろうか？」と思いました。私は部屋の中に立っていて、両手を上げていました。そして、誰かがドアのところで私を呼んでいるのが聞こえました。

時間で立派な女性になるでしょう。”

それから人々は丘に集まり始め、「行きましょう」二人の男」と言いました。

32 そして同時に、彼女の批判的な母親は.. ジョージーは母親が私をそのように扱ってくれたので、泣きながら祈っていました。それで彼女はキッチンに出て、ひざまずいて祈りました。彼女は言いました、「神よ、」言いました、「ブランハムと呼ばれるこの国を通して来たあの墮落者、」言いました、「彼は私の子供をそこでかき混ぜました、」そして言いました、「かわいそうな小さなものがそこに横たわって死んでいます。そして今日、」は言いました、「彼女はただ泣きました、そして彼女の小さな目は赤いです。」“彼は彼女に心理学について大騒ぎさせている。”“神よ、その男に呪いをかけるか、何かをしてください”と言い、続けて、「ああ..」祈りました。

そして祈り始めると、隣に住んでいた娘が通り過ぎていくのだと思えました。彼女は壁の影を見た。そして彼女は許しました..(彼女に手紙を書くときは、彼女に関する証言を得てください。) 彼女は人生で見たことのないほどはっきりと、「イエスよ、来てください、その壁を越えて歩いて来てください」と言いました。彼はそれを乗り越えます。“わたしの油そそがれた者に触れてはならない。”

言った、「それは誰の到来ですか？」そして彼は見て、私が来るのを彼女が見たと。同じ聖書を、私は心の中でそう思っていました。彼女は私の髪が前が薄くなっているのを見たと言いました。彼女は言いました。“そうです、それがあの説教者です。”そして彼女は飛び上がった。彼女は言いました、「“神よ、お願いします”。私はトランス状態だったのか、それとも何が起きているのか？気が狂いそうだ。”

そして彼女は部屋に駆け込み、言いました、「ジョージー、知っていますか？」

33 そしてその頃、ドアが閉まりました。そして、彼女がビジョンを見た方法に従って、私はここに来ました。ここに私は聖書を胸に抱えて歩み始め、二人の男が私を追ってきました。ああ、私の。

そこにいたら.. そのとき、地獄から出てきた悪魔がそれを止めることはできません。God's done spoke it; prayer is done answered. 神はそれを語った。そうだね。何かが起こらなければなりません。

私は歩き始めました；ホール兄弟は私に言い続けました、「ブランハム兄

30 そしてその夜、私は一upに入っていました。それは礼拝の最後の夜でした。私はライト氏と夕食をとるつもりでした。そして私たちは起きていました。そして私は言いました、「ライト兄弟、私には祈るために森に行かなければならないように思えます。」。聖霊は私に食べるのではなく祈るように導いておられます。”

そして私は森の中へ上がってひざまずきました。そして午後遅くなってきました。そして私は祈ります。そして、手を伸ばすたびに、イバラの蔓を掴んで手を引っ掻いていました。私は... ひざまずけなかったように見えました；膝が痛かったです。どういふものか知ってるだろ。そして私は祈り続けました。そして私はただ倒れたのです。

さて、彼女は言いました—私が出発する前に言いました、“お母さんがベルを鳴らしたら、あなたは—今すぐ夕食に来てください。”

それで、それが鳴る音が聞こえましたが、私は御霊の中で祈っていて、ただそこに留まりました。そして私は祈り続けました、“神よ、私の心に対するこの重荷は何ですか？私は何かをしましたか、または—あなたが望む何か”そして私は主の天使が近くにいるのを感じ、立ち上がりました。

小さなハナミズキの茂みを通して輝くのは、黄緑色の光でした。「“カーターの道を進んでください」という声が聞こえました。”

31 私はそこから立ち上がって、声を限りて叫びました。フィールドを下って行きました。彼らは私を探しに狩猟—狩猟パーティーに出かけていました。そして私はライト兄弟の腕の中に飛び込みました。

彼は言いました、“ブランナム兄弟。” “お母さんは何時間もあなたの夕食を待っていました。” “閉店サービスに遅れるぞ”と言いました

私は言いました、“夕食には行きません。しかし、今夜は主である、と主は言われる、ジョージ・カーターは、ほんの数瞬のうちに、完全にされるであろう。”

彼は言いました、「“ブランナム兄弟、それは本気ですか？””彼は言いました、“それは神から来るものなので、この国全体が神に頼ることになるのでしょうか？”

私は言いました。“私がこの地上で生まれたときから私を養い、一度も嘘をついたことのない神の天使はこう言っています。ジョージ・カーターは次の1

朝になり、その晩教会へ行ったとき、私は言いました。「私は幻を見ました。そして“ミルタウン”という名前を聞きました。どなたか、それがどこにあるかご存じですか？」誰も知りませんでした。次の日曜日に、私は言いました。「ミルタウンという小さな町で、誰かが困っています。きっとどこかから手紙が来て、そのミルタウンという町へ行くことになるでしょう。誰かが困っているのです。それが何かは分かりません。ただ行かなければなりません。」そして言いました。「それはこの国のどこか、別の場所かもしれません。」

私が話していると、そこに座っていた一人の男性が言いました。「ブランナム兄弟、私はミルタウンがどこか知っています。」そして言いました。「それは……ジェファーソンビルかニューアルバニーから南へ三十、四十マイルほど下った、インディアナ州南部のずっと奥にある小さな町です。私はその近くに住んでいます。」

私は言いました。「どう綴るのですか？」

彼は言いました。「M-i-l-l-t-o-w-n、ミルタウンです。」

私は言いました。「それです。」

彼がそう言ったとき、そこがその場所だと主の御霊が証しするのを感じました。そこで私は言いました。「そこを探しに行きます。行き方を教えてください。」すると彼は道順を教えてくださいました。

19 そして私はその人の家へ行き、そこから何マイルも田舎道を案内してもらい、小さな村へと着きました。そこがミルタウンでした。

その日は土曜日でした。町の人々はあちこちで買い物をしてながら動き回っていました。人口は千人ほど、いや、それにも満たない小さな町でした。

私は言いました。「もしかすると主は、ここで街角に立って説教することを望んでおられるのかもしれない。」それで私は店に入り、立つための古い石けん箱を十セントで買いました。私はただミルタウンへ行けと言われてただけで、他には何も分かりませんでした。それだけが分かっていることでした。そして私は思いました。「ここに誰か困っている人がいるのだ。」そして、「もしかすると酔っぱらいか何かかもしれない」と考えました。

石けん箱の上に上がろうとし、あたりを見回しましたが、どうしてもできませんでした。何かか「それをするな」と言うのです。

そこで石けん箱を置くと、数人の人が近づいて来て、「それで何をしようとしているのですか」と尋ねました。

私は言いました。「私は牧師です。しかし……主は私に別のことをさせようとしておられるように感じます。」

20 ライト氏——私と一緒にいたその人が、店から出て来て言いました。「この丘の上に、卵を届けに行かなければならない人がいるんです。一緒に行きますか。」

私は言いました。「はい、行きます。」

私たちは丘を回り込んで上って行きました。そして大きな古い教会の前を通りました。白くて大きな教会でした。

私は言いました。「町を見下ろしていて、立派な古い教会ですね。」

彼は言いました。「あれは古いバプテスト教会です、ブランナム兄弟。」

私は言いました。「どのバプテストですか。」

彼は言いました。「ミッシヨナリー派です。」

私は言いました。「ああ、そうですか。私が……」そして言いました。「何があったのですか。」

彼は言いました。「何年も前に、ここで問題が起こったのです。ある牧師がトラブルを起こし、大きな発砲事件がありました。」そして、「それで教会は衰退し、会衆は建物を町に引き渡しました。今では葬儀に使われるだけです。」

私は戸口の方へ歩いて行きました。戸口に近づくにつれて、何かがはつきりしてくるようになってきました。ドアを開けようとしたのですが、開きませんでした。

そこで私は言いました。「あなたは先に行ってください。戻って来るまで、私はここで階段に座って待っています。」

21 彼が丘の上へ行くと、私はひざまずきました。そして言いました。「主よ、もしここがあなたが私を遣わそうとしておられる場所であり、ここで集会を開けてお望みなら、この扉を開いてください。扉を開いてください。」

まだ祈っている最中に、丘の向こうからこちらへ回って来る足音が聞こえました。口笛を吹きながらやって来た一人の男性でした。

によって私を荒野に送り、丘を越えて狩りをさせ、彼女を見つけたのです。そして新聞には、彼女がどのように癒されたかについての記事が掲載されていました。彼女の足はまっすぐに伸び、すべてが国をそこへかき回した。彼女は… 彼女はその後学校に通いました。その女性は現在結婚しています。彼女は16歳くらいで、今は20歳くらい、たぶん18歳か20歳くらいだったと思います。そして彼女はひどい状態でした。彼女はそのことについて私に話していました。

そうですね、彼女の顔が視界に入っているのが見えました。私は彼女のために祈って出かけました。よし。それから数週間後、私は彼女に言いました… 彼は言った、「“主があなたに語られるなら、ブランナム兄弟、私のところに来てください。”」

私は言いました、「そうします。」

本当に低くならなければなりません。彼女は喀痰カップを上げることができなかった。彼女は咳をしに行く、彼女は行くだろう… [ブランナム兄弟が説明] そして母親はカップをそのように上げなければなりません。彼女は手を上げることさえできなかった。彼女の手は… この彼女の顔には肉はなく、頭蓋骨の骨のように見え、一彼女の目はずっと入っていました。ああ、一番だよ… 彼女は小さな頭を向けることができませんでした。

29 そして私はそこを振り返って言いました… 数日前、私はそこにいて、彼女の小さな古いベッドを見ました。彼女はそれを見せるために私を引き取ってくれました。そして、弾丸の塗料がすべてこすり落とされていたのは、まさにそこだった。そこで毎年、そこに横たわって叫び、泣き、物乞いをし、それにしがみつき、ベッドポストの塗料をこすり落とした。しかし、彼女がどんな環境で育ったとしても、神は彼女の叫びを聞きました。

それから私は一外に出て、会議を開いていました。そしてその数日後、私は夕食をとるためにライト氏の家に行きました。その人たちはこう言いました… 私たちが川のほとりで洗礼式を行っていたとき、この同じ男性のメンバーの多くがそこに立っていました。私は川の中へ歩いて行きました。そして私は言いました、「神の天使が近くに立っているようです。」洗礼を始めました。そして、その男の教会から次々と偉大な候補者が水の中に出てきて、良い服を着てバプテスマを受け、すべて出てきました。

神は動くでしょう。あなたはただじっとして、神にそれをやらせてください。ほら？ そうだね。彼を信じてください。彼はきっとすべてを解決してくれるでしょう。

日、母親が来ることを許可しました。彼女は言いました。「娘を満足させるために、あなたが来るなら構いません。でも私たちは家を出ます。あなたがいる間、私たちはそこにいません。」

偽善です。

それでも私は言いました。「とにかく行きます。」

私は丘を下り、その家に入りました。部屋に入った瞬間、彼女だと分かりました。私は彼女を見ました。体重は三十七ポンドほどしかなく、ほとんど骨ばかりでした。手を上げることもできません。痰を受けるカップさえ持ち上げられませんでした。母親は、まだそれほど年でもないのに、麻痺を患い、髪は真っ白になって、そこに座っていました。

その娘は、八年間、窓の外を見ることさえありませんでした。九年八か月の間、ずっと寝たきりだったのです。言いにくいことですが……彼女は便器にも移されることができず、ゴムのシートを下に敷き、その上でシーツを替えるだけでした。そして……彼女の手足は、このあたりがほんのそれくらいの細さしかありませんでした。

27 今から彼女の名前をお伝えしますので、どうぞ手紙を書いてみてください。

ジョージ・カーター嬢。C-a-r-t-e-r, G-e-o-r-g-i-e, ミス・ジョージ・カーター。インディアナ州ミルタウンです。彼女のもとに郵便は届きます。そして彼女自身が証しを書いてくれるでしょう。同じことを語るかどうか、確かめてみてください。主治医の証明書なども送ってもらうよう頼んでみるとよいでしょう。

さて、私が丘を下って行ったとき、クリスチャンたちは皆こう言いました。「もしあの娘が癒されたら、この国中が大騒ぎになるだろう。」

しかし、そこが注意すべきところです。神は見せびらかすために癒されるのではありません。分かりますか。そのような動機では働けません。たいていの場合、それが最も癒されにくい状況なのです。皆が見つめているとき、不信仰という力が集中して、その人に向けられます。不信仰こそが悪霊の力です。信じない者は、すでに罪に定められているのです。

28 さて、注意してください、私は中に入ってその少女のために祈りました。そして彼女は、別の女の子が幻視によって(生涯不自由になり、不自由になり、インディアナ州セーラムのメソジスト教会に所属していた一新聞のどこを読んだのかについて私に話していました。彼女の名前はネイルでした。)そして主は幻

「やあ、牧師さん？」

私は言いました。「こんにちは。」

彼は言いました。「その教会を見ているんですか？」

私は言いました。「ええ。でも、どうして私が牧師だと分かったのですか？」

彼は言いました。「ライト氏が、あなたは牧師だと言っていました。中を見たのかと思って。」そう言って、彼は鍵を持って来て、扉を開けてくれました。

私は言いました。「ありがとうございます。」そして中へ入り、あたりを見回しました。「天の父よ、ありがとうございます。」きれいな教会で、三百人ほどは座れる広さでした。

私は言いました。「これは誰のものですか？」

彼は言いました。「町の所有です。」

それで私は町へ行って話をしました。その教会は、当時私が勤めていた公共事業会社から電気を買っていました。

その人は言いました。「どうぞ上へ行って、電気メーターを取り付けなさい。あなたが望む間は、使ってかまいません。」

「ありがとうございます。」私はメーターを取り付けました。そして次の日曜日からリバイバル集会を開くと告知しました。

22 その晩……私が出かけたその日、丘の近くにいた一人の男性に声をかけました。

「あなた、私はブラナム兄弟です。ここで集会を開きます。来ていただけますか。」

彼は言いました。「おい、牧師さん。ここでは宗教にかまっている暇はないんだ。俺たちは鶏を育てているんだ。」

私は言いました。「そうですか、友よ。しかし、いつかは死ぬ時間を見つけることになるでしょう。」それから三週間後、彼は葬られました。

それから私は丘の反対側へ回りました。多くの人に会いましたが、皆とても無関心でした。それでも私は集会を始めました。最初の晩は、ライト氏とその娘

二人、息子、そして奥さん、五人だけでした。私はできる限り力を尽くして説教しました。

そして続けました。次の晩も同じ顔ぶれでした。ただ、私が講壇に座って聖書の箇所を読んでいるとき……そこへ来るのにかなりの距離を運転して来なければなりませんでした。

23 すると、家の横を何かたたく音が聞こえました。見ると、一人の男が古いトウモロコシの芯のパイプを家の壁に打ちつけながら入って来ました。顔には髪がだらりとかかり、実に荒々しい風貌でした。前歯が一本突き出ている、建物の中を見回しながら言いました。

「ここで話題になっている“小さなビリー・サンデー”はどこにいるんだ？」

ライト氏は前に私に言っていました。「あれは手強い男だ。」そして、「以前はナザレン教会に属していたが、今は背教して、このあたりに来る説教者を片っぱしからののしている」と。

ライト氏が私のところへ来て言いました。「こちらがホールさんです、ブラナム兄弟。」

私は言いました。「お会いできてうれしいです。」

彼は言いました。「あんたがその説教者か？そんなふうには見えんな。」そして、ひどい言葉を吐きました。

私は言いました。「お座りになりますか？」

彼は言いました。「まあ、少しなら座ってやってもいい。歌は好きだからな。」

私は言いました。「では、できるだけお迎えいたしましょう。どうぞお座りください。前の方にいらっしゃいますか？」

彼は言いました。「いや、そこへは行きたくない。ここに座る。」

私は言いました。「かしこまりました。賛美歌集をどうぞ。ご自由になさってください。」そう言って、私は再び後ろへ戻りました。

24 ライト氏が講壇に上がって来ました。歌を始める準備ができたとき、彼は言いました。「あそこにいるのが、このあたりで一番たちの悪い男だ。」

そこで私は立ち上がり、「金持ちがよみで目を上げて……」という箇所から

説教を始めました。(テープに空白あり。)……彼は今では祭壇におります。ミルトン・バプテスト教会の牧師をしており、とてもすばらしい兄弟です。(テープに空白あり。)

さて、今からその方の名前を言いますので、手紙を書きたい方は控えてください。名前と住所を言う前に少し待ちますから、鉛筆と紙を用意してください。彼女は丘の下に住んでいました。そして彼女の家族は、ある特定の教派の教会に属していましたが、その教会は御霊をまったく信じないのです……(テープに空白あり。)

御言葉は、御霊によって生かされるまでは死んだものです。しかし彼らはそれを信じていません。そのような教会が、こちらにもあるかどうかは分かりませんが……。彼らは、もし誰かが私の集会に出席したなら、戻って来たときには教会員証を返すように、つまり除名するとの通告を出していました。

そこで私は言いました。「よろしい。誰かが来るでしょう。」そしてその冬、私たちの教会は満員になりました。

25 それでホール氏が私のところへ来て、こう言いました。

「ブラナム兄弟、この丘の向こうに一人の若い娘がいます。二十歳くらいです。九年八か月もの間、まったく動くことができず、ずっと仰向けに寝たきりです。全身が結核に侵されています。医者もここ三、四年は訪れていません。昨年以來、何もしていないのです。喉の結核、肺結核、腸の結核、そして婦人病の結核です。」

そして言いました。「彼女は二か月ほど前にあなたの小冊子を手に入れました。それ以来、泣きながら祈り続け、あなたに来てほしいと願っています。しかし彼女の父親はその教会の執事で、母親はそのオルガン奏者です。ですから、あなたが来ることを許さないのです。」

彼がそう言った瞬間、私の内に声がありました。

「荒野に引っかかっている子羊がそこにいる。」

私は思いました。「ああ、主よ、あなたが道を開いてくださるでしょう。私はあなたを待ちます。」しかし、それが御霊の証しであることは分かっていました。私は待ちました。

26 やがて八日間の集会が終わり、私は帰ろうとしていました。ちょうどその